

将来を厳しくチェック!

かけがえのない我が熊野町の

気になる5件をピックアップ

12月定例会(12月11日開会) 町から報告2件・議案14件・認定1件、議会から報告1件・発議2件

(数値については表記単位未満を四捨五入しています)

ピックアップ①

「熊野町建築設計者選定委員会条例」を議決

町長の諮問により、町が発注する建設工事及び測量、地質調査又は建設コンサルタン業務に關し、「※1公募型建築プロポーザル方式」又は、「※2公募型建築設計競技方式」による審査を行うための条例を議決

○ 委員会は町長が任命する委員をもって組織

・ 学識経験者 6人以内

・ 関係行政機関職員 4人以内

・ その他町長が必要と認める者若干名

※1 高度又は専門的技術が要求される場合に、実施方法等の技術的な提案を求める方式
※2 芸術性、獨創性等を重視する場合に、具体的計画案、設計案等の提出を求める方式

ピックアップ②

「筆の里工房」「熊野町中央地域健康センター」の指定管理者の指定を議決

○ 筆の里工房の指定管理者として「一般財団法人筆の里振興事業団」の指定を議決

※ 指定期間は、平成31年4月1日～平成36年3月31日(5年間)

○ 熊野町中央地域健康センターの指定管理者として「社会福祉法人熊野町社会福祉協議会」の指定を議決

※ 指定期間は、平成31年4月1日～平成34年3月31日(3年間)

ピックアップ③

財産(大原ハイツ横の山林二筆)の取得を議決

○ 川角五丁目249番 山林 4837㎡ 1209万2千500円

○ 川角五丁目250番1 山林 3476㎡ 869万円

ピックアップ④

農業委員会委員の任命に同意

○ 木原 哲男氏
○ 空田 忠氏

※ 任期は、平成30年12月20日～平成32年7月19日

ピックアップ⑤

平成30年度一般会計補正予算(第4号)

歳入・歳出とも5億1966万円の増額
総額121億3716万円に

【主な内容】

(歳入) 国庫の負担金・補助金や県の補助金、町債の増額
県負担金や公共施設等整備基金繰入金は減額

(歳出) 総務部門(5319万円増)：災害復旧・復興関連事業の職員派遣経費や東部地域防災センター(仮称)の実施設計業務等
民生部門(1300万円増)：国や県への過年度精算に伴う返還金等
建設部門(1億4429万円増)：災害復旧・復興関連事業の宅地内堆積土砂処分・撤去工事費等

教育部門(3億919万円増)：小・中学校普通教室の空調設備設置経費や災害復旧・復興関連事業の第二小プール災害復旧経費等

主な質疑

ピックアップ②

Q. 筆の里工房が関係する、広島駅ビルのアツセや東京銀座のアンテナショップ・タウは2、3年後に撤退か。
A. テナントとしての更新時期の見直しであり、撤退するということではない。

Q. 社会福祉協議会は、今の職員数で足りるのか。町民会館は老人福祉センターと分かれていたと思うがどかが管理するのか。
A. 社会福祉協議会とは人員増も踏まえ協議していく。老人福祉センターの管理については、町民会館長がセンター長を兼務している。

ピックアップ③

Q. 避難道路は喫緊の課題である。避難道路用地の買収だけなら理解できるが、災害直後のこの時期にグラウンドゴルフ場が必要か。また、安全性の調査結果について議会へ報告がない。
A. 当初はグラウンドゴルフ場の設置が本分であった。現段階では避難道路として推進したい。安全性の調査結果については、豪雨災害には対応できる土地だと考えている。

Q. この土地は不動産鑑定士が評価しているか。
A. 道路は国の補助を受ける。用地費も対象であり、土地価格鑑定評価を行っている。

補足説明

※ 道路用地 1051㎡(国庫補助・町債)
※ その他 7262㎡(土地開発基金)

Q. 計画を一步でも進める時には議会に説明をすることが合意されていたものと考えますが、計画がほぼ出来上がった段階での説明では、町民の意見は反映されない。
A. グラウンドゴルフ場用地を取得するということでの説明をしてきたが、説明不足は陳謝する。

「グラウンドゴルフ場として協力願いたい」としてきたが、被災によって避難道路は作らねばならなくなった。グラウンドゴルフ場を基本として考えているが、財源もない中で他に代わるものも検討したい。その時には議員の意見を十分に聴く。

ピックアップ⑤

Q. 町道拡幅工事についての見直しは。
A. 町道呉出来線の大瀬戸医院付近の拡幅工事は完了。町道呉萩線では宮田油業近辺は用地買収が完了し、来年度、工事を執行する予定。また、呉地方面から東中学校への当該町道の拡幅については、用地測量中で工事実施時期は不透明な状況である。

Q. 宅地内の堆積土砂排除事業は誰が行うのか。
A. 職員が申請された現地の確認を行い、業者の空き状況を確認した後、業者を手配し処理した。50件の見込みに対し、74件の申請があったことなどに伴い、町民グラウンドへの運搬料、土砂処分料を増額した。